

TB門袖

取付説明書

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<TB門袖に対する知識>

- 自然な風合いを出すため、表面の凸凹や色合いは材料により違いがあります。
- 目地色の濃度に個体差が生じます。
 - ・お届け時または施工後、季節・施工条件などにより目地モルタル表面が一部白くなる場合がありますが、性能などに問題はありません。
 - ・製法上、粒状、粉状の材料が表面に残っている場合がありますが、耐久性能上問題はありません。

<施工の前に>



注意

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 弊社指定部材・部品以外は使用しないでください。
- 本製品は、施工現場での加工を前提にした製品です。
- 梱包明細書で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- 運搬および保管
 - ・ 搬入や施工時の運搬は、カド打ちに注意してください。
 - ・ 発泡芯材は太陽光線のもとに長時間放置すると、紫外線により表面が劣化するおそれがあります。
 - ・ 発泡芯材部は80℃以上になると変形しますので、高温のものや火気がない場所に保管してください。
- 接着やコーキングは弊社指定の「専用接着剤」以外は絶対に使用しないでください。発泡体を侵し、強度や性能低下のおそれがあります。
- ブリックや目地に直接ネジ類でポスト等重量物を取付けないでください。落下するおそれがあります。
- 発泡芯材の化学的性質は一般に弱酸、アルカリ、塩類などに優れた抵抗性を持っていますが、アルコール以外の有機溶剤や石油類に侵される性質を持っていますので、それらが付着しないように注意してください。（例：有機溶剤系塗料、接着剤、有機溶剤系はっ水剤、灯油、ガソリンなど）
- 暖房機・給湯器等の排気口から1m以上離してください。変形等の原因になります。
- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。

<基礎工事について>

⚠ 注意

- 基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めています。現場によって(堅牢な地盤、軟弱な地盤など)基礎部のコンクリートの量(体積)を十分配慮してください。
- 塩分を含む砂および塩素系のモルタル混和剤は使用しないでください。腐食の原因になります。
- コンクリート(またはモルタル)には、急結剤は使用しないでください。使用するとアルミが腐食する原因になります。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。

<電気配線工事について>

⚠ 注意

- AC100Vの電線の埋設工事、配線作業に関しては、電気工事店の有資格者に依頼してください。
- AC100V用の照明器具は、第3種接地工事を行なってください。
- DC12V仕様の照明器具には、専用トランスと電源ケーブルが必要です。AC100Vを接続しないでください。
- 照明用配線と信号線は、電線管による隔離をしてください。
- 照明用配線にはVVFφ1.6またはφ2.0の3芯単線(アース線を含む)を、インターホン用信号にはVCTF0.75mm²のより線またはφ1.0単線3芯を準備してください。
- AC100V用の照明器具には、周波数50Hz用と60Hz用の2タイプがあります。仕様地域の周波数のものを使用してください。
- 照明器具には「EEスイッチ」、「明るさセンサー」または「入切スイッチ」を別途設けてください。
- 門袖本体には、松下電工製CD管 呼び14(内径φ14, 外径φ19)を使用しています。家側からの配管はPF管 呼び14を使用してください。

■梱包明細表

①上ユニットフラット・アール笠木タイプ/全面張り(機能付)

名称	略図	員数
本体(天端用)		1
本体(ポスト用)		1
端部パネル※		4
ジョイント材		2
横材		1
連結部品		2
専用接着剤		1
CD管		2
①-① φ4×70ナベタッピンネジ2種(G=30)		4
①-② M4×10トラスネジ		12
取付説明書		1
取扱説明書		1

③上ユニットフラット・アール笠木タイプ/部分張りA・B(機能付)

名称	略図	員数
本体		1
端部パネル※		4
ジョイント材		2
連結部品		2
専用接着剤		1

②上ユニットフラット・アール笠木タイプ/全面張り(機能無)

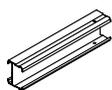
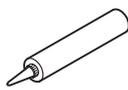
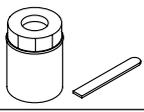
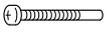
名称	略図	員数
本体(天端用)		1
本体(ポスト無用)		1
端部パネル※		4
ジョイント材		2
横材		1
連結部品		2
専用接着剤		1
②-① φ4×70ナベタッピンネジ2種(G=30)		4
②-② M4×10トラスネジ		12
取付説明書		1
取扱説明書		1

※端部パネルは本体に仮止めしています。

※端部パネルは本体に仮止めしています。

■ 梱包明細表 つづき

4 上ユニットフラット・アール笠木タイプ/塗り (機能付)

名 称	略 図	員 数
本体		1
端部パネル※		2
ジョイント材		2
連結部品		2
専用接着剤		1
CD管		2
塗り仕上げ塗材セット		1
4-① φ4×70ナベタッピン ネジ2種 (G=30)		4
4-② M4×10トラスネジ		12
取付説明書		1
取扱説明書		1

6 下ユニット

名 称	略 図	員 数
本体		1

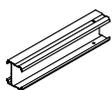
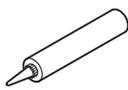
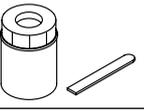
7 平笠木

名 称	略 図	員 数
平笠木		2

8 デザイン笠木

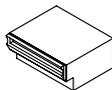
名 称	略 図	員 数
デザイン笠木		9

5 上ユニットフラット・アール笠木タイプ/塗り (機能無)

名 称	略 図	員 数
本体		1
端部パネル※		2
ジョイント材		2
連結部品		2
専用接着剤		1
塗り仕上げ塗材セット		1
5-① φ4×70ナベタッピン ネジ2種 (G=30)		4
5-② M4×10トラスネジ		12
取付説明書		1
取扱説明書		1

※端部パネルは本体に仮止めしています。

9 ポスト

名 称	略 図	員 数
ポスト本体		1

10 照明

オプション

名 称	略 図	員 数
照明		1

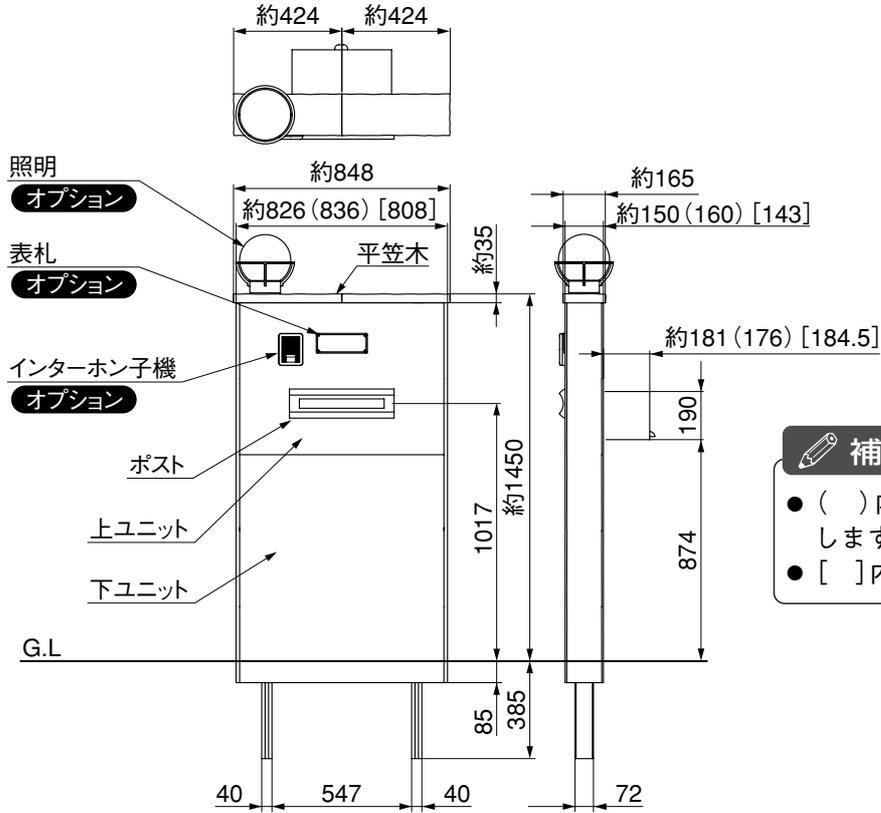
11 インターホン

オプション

名 称	略 図	員 数
インターホン親機		1
インターホン子機		1

1. 基本寸法および名称

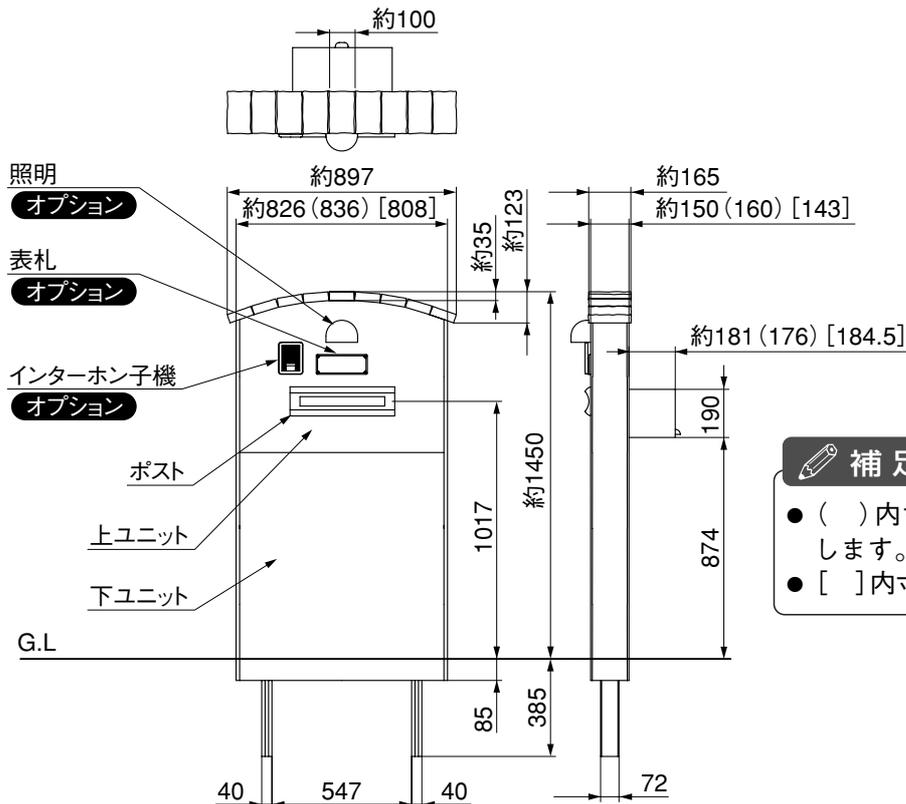
1-1 フラット笠木タイプ ※全面張り／部分張り／塗り（機能付）



補足

- ()内寸法はウォルズ仕上げを示します。
- []内寸法は塗り仕上げを示します。

1-2 アール笠木タイプ ※全面張り／部分張り／塗り（機能付）

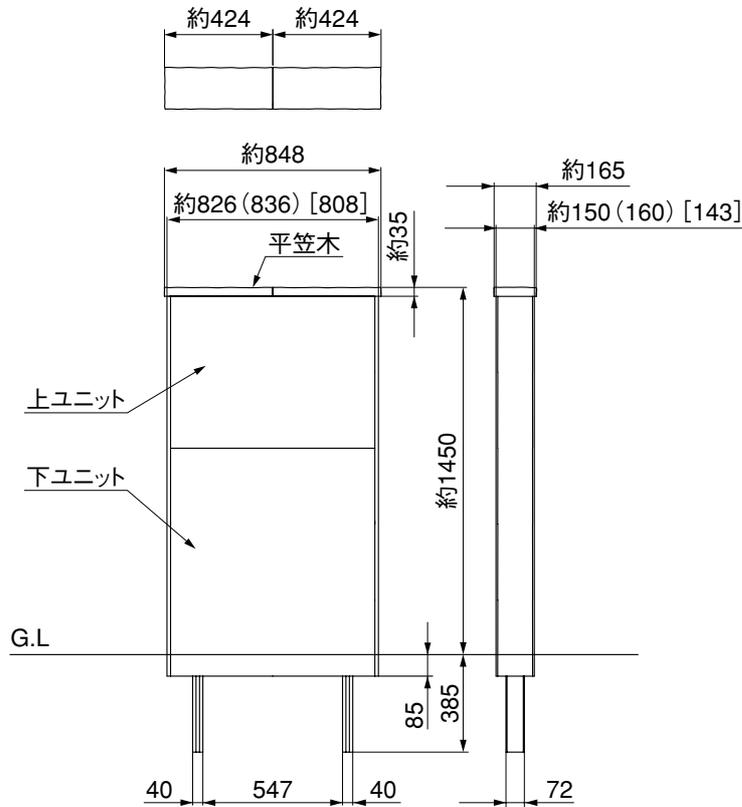


補足

- ()内寸法はウォルズ仕上げを示します。
- []内寸法は塗り仕上げを示します。

1. つづき

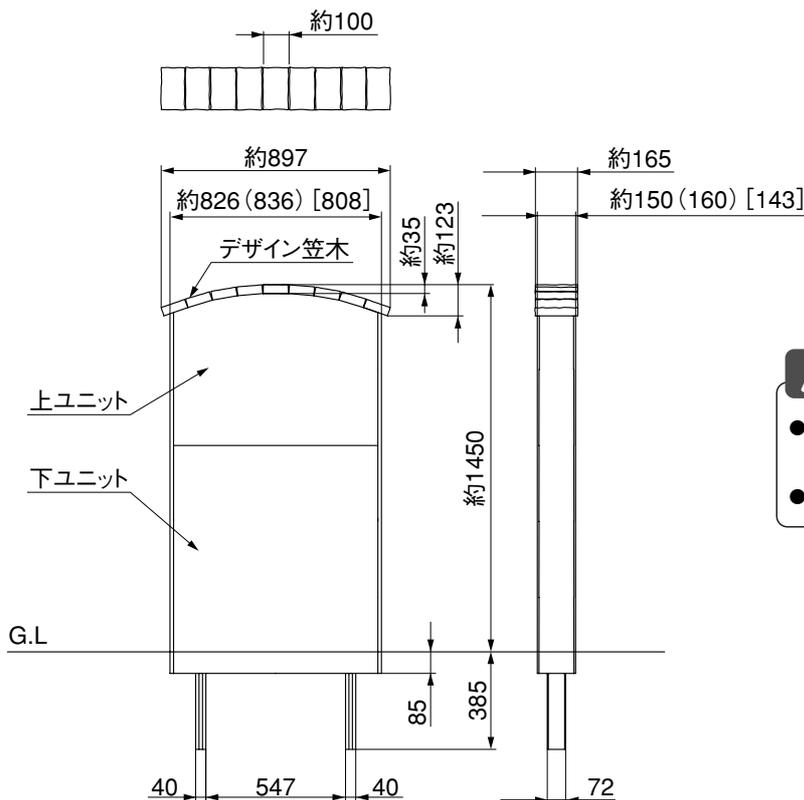
1-3 フラット笠木タイプ ※全面張り／塗り（機能無）



補足

- ()内寸法はウォルズ仕上げを示します。
- []内寸法は塗り仕上げを示します。

1-4 アール笠木タイプ ※全面張り／部分張り／塗り（機能付）

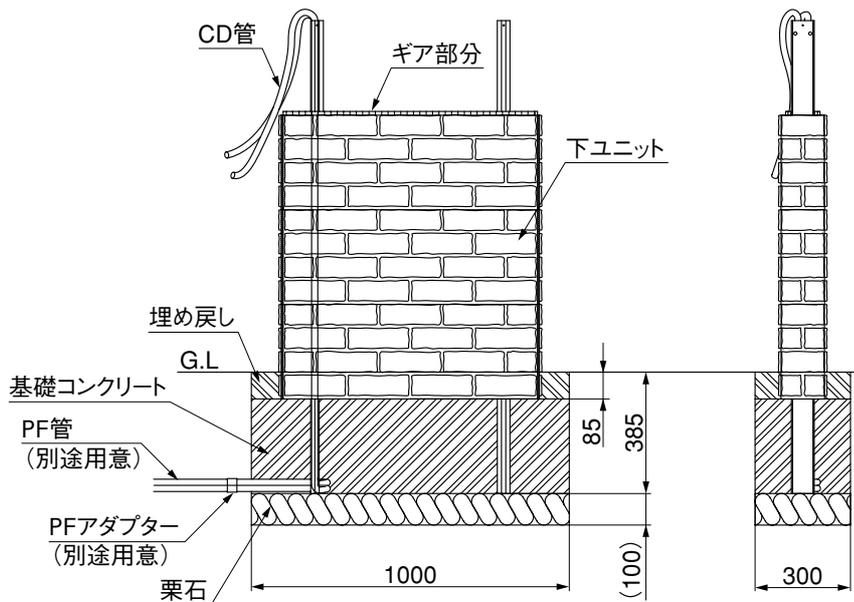
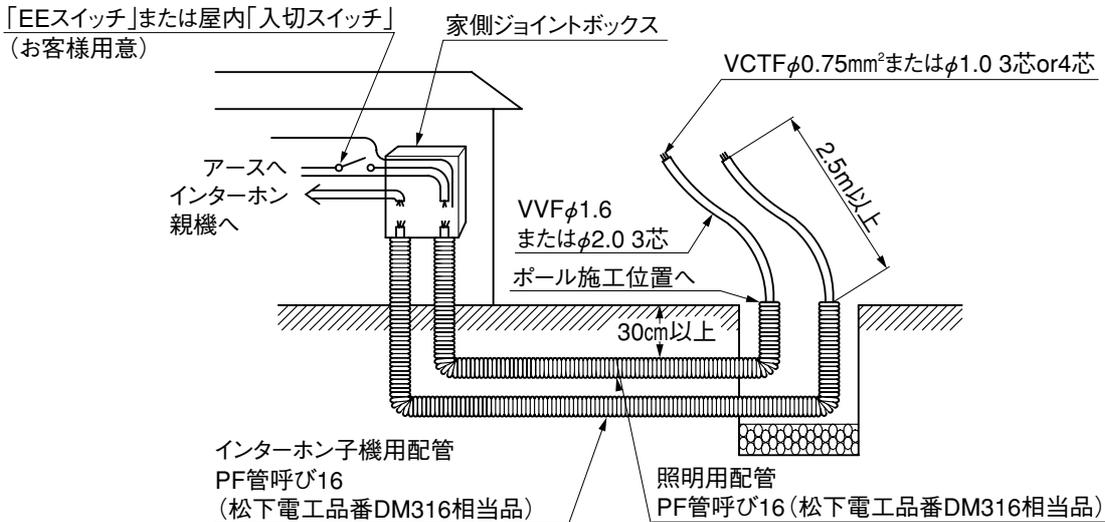


補足

- ()内寸法はウォルズ仕上げを示します。
- []内寸法は塗り仕上げを示します。

2. 基礎工事と配管工事

※配線工事、照明・インターホンを取付ける場合の作業です。
配線工事が不要の場合は①と⑥項を行なってください。



- ① 基礎穴を掘り、栗石を敷いてください。
- ② 照明およびインターホン子機用の配線配管をしてください。

補足

- DC12V仕様の照明を取付ける場合、施工の際にDC12Vトランス電源ユニットが必要になります。DC12Vトランスに付属の取付説明書をご参照ください。
- 照明とインターホン子機用配線はPF管(別途用意)による隔離をしてください。

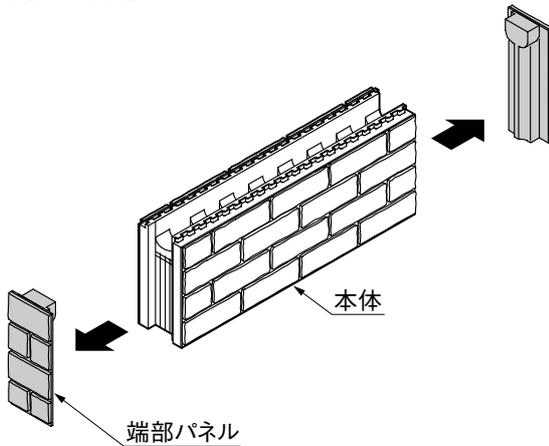
- ③ 下ユニット本体の柱内にCD管を通してください。
- ④ 柱のCD管に照明・インターホン子機用配線を通してください。
- ⑤ 照明・インターホン用配管、PF管と柱内のCD管をPFアダプター(別途用意)で連結してください。
- ⑥ 基礎コンクリートを打設してください。

ポイント

- 養生中は配線用の孔から雨水等が入らないようにしてください。
- ギア部分が上側になるようにしてください。

3. 上ユニットの取付け ※全面張り/機能付・機能無の場合です。

3-1 本体取付け準備



- ① 本体に仮止めしてある端部パネルを外してください。

補足

- 端部パネルは捨てないようにしてください。

3-2 OA-12型ポストの取付け ※本体(機能付)にOA-12型ポストを取付ける場合の手順です。

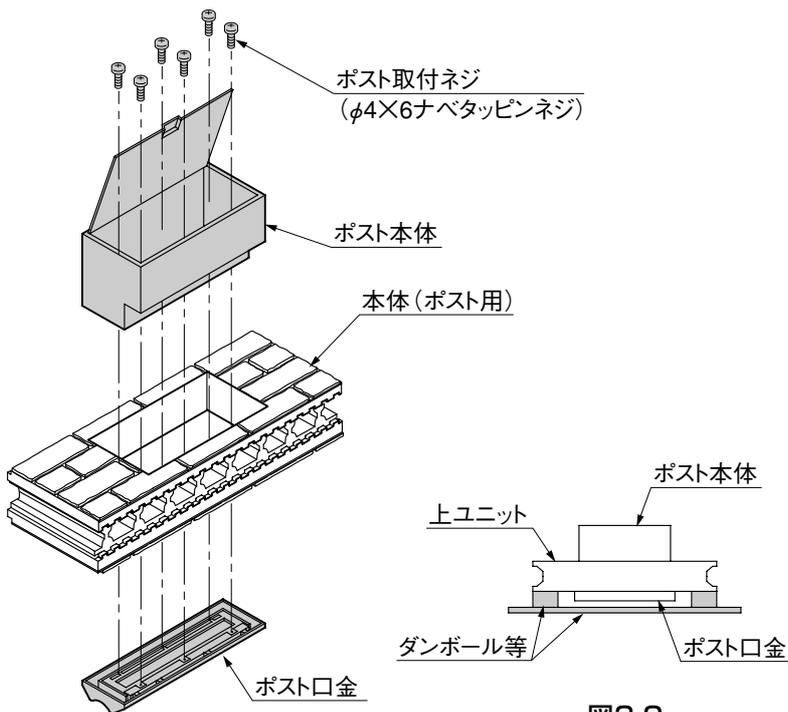


図3-1

図3-2

- ① あらかじめポストに取付けてあるスペーサーを取外してください。

- ② ポスト本体取出し口から「φ4×6ナベタッピンネジ」を外してください。(図3-1参照)

補足

- 「ポスト-OA型口金タイプ (F062)」をご参照ください。
- 中敷板をずらすか取外すと作業がしやすくなります。

- ③ ポスト本体を本体(ポスト用)にはめ込み②で外した「φ4×6ナベタッピンネジ」でポスト本体にポスト口金を取付けてください。(図3-1参照)

補足

- 図3-2のように本体にキズやよごれ等がつかないように支い物をして寝かせると作業がしやすくなります。
- ポスト取付けの際に図4-3のスプリングを矢印の方向に起こして取付けてください。
- 図3-3のパッキンが外れないように注意してください。雨水の浸入につながります。
- 図3-3の軸棒をポスト口金の中央にすると取付けやすくなります。

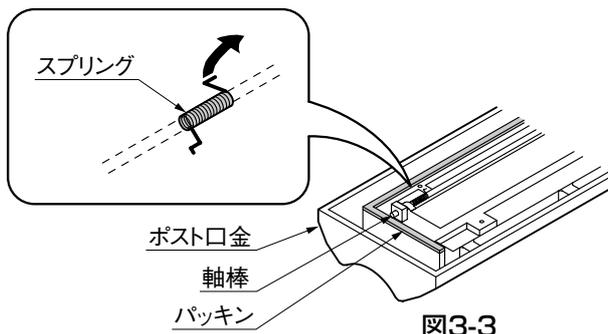
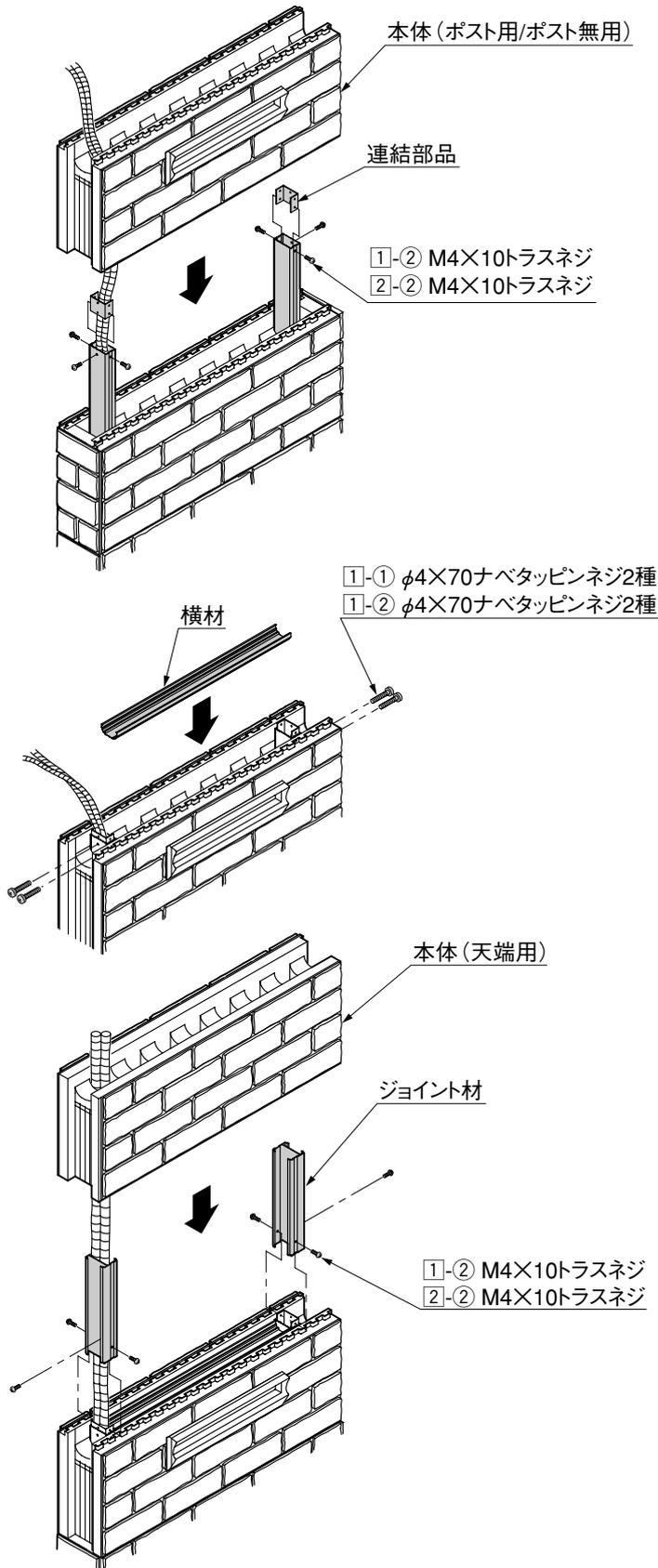


図3-3

3-3 本体の取付け



① 連結部品を下ユニットに①-②、②-②で取付けてください。

② 本体(ポスト用/ポスト無用)を下ユニットにはめ込んでください。

③ 機材を本体溝部分にはめ込み①-①、②-①で取付けてください。

ポイント

- ①-①、②-①は仮止めすることで本体(天端用)の取付けがスムーズに行なえます。

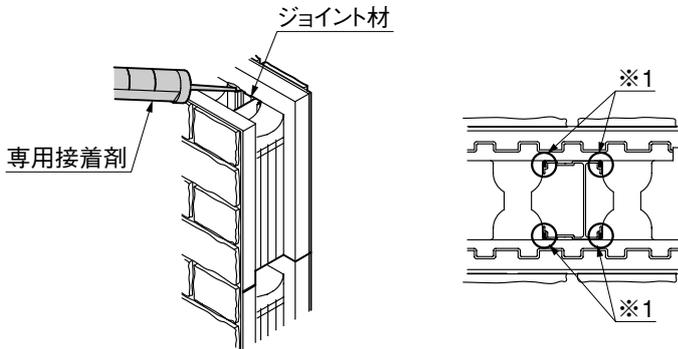
④ 連結部品・ジョイント材を下ユニットに①-②、②-②で取付けてください。

⑤ 本体(天端用)をはめ込んでください。

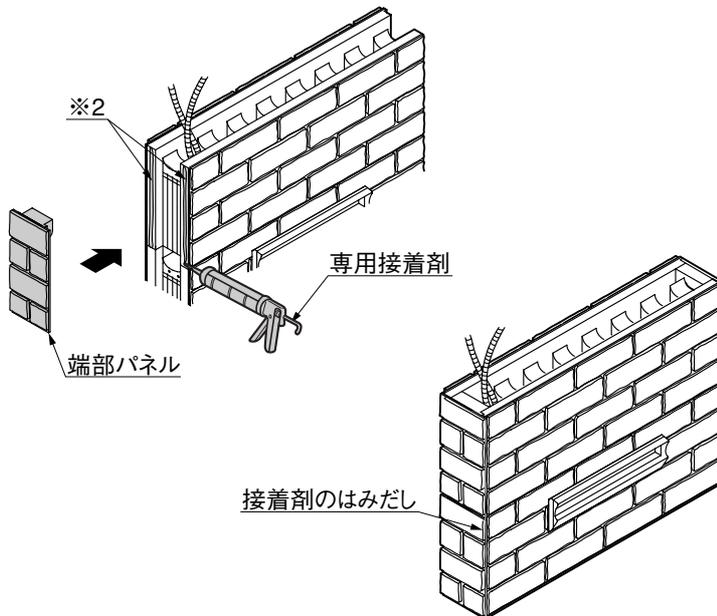
⑥ ①-①、②-①で本締めしてください。

3. つづき

3-3 つづき



3-4 端部パネルの取付け



- ⑦ 本体固定のために接着剤をジョイント材と本体の間にすき間が無くなるまで注入してください。(※1)

ポイント

- 専用接着剤の口は小さめにあけると注入しやすくなります。

- ① 本体側面部2ヶ所に専用接着剤を塗布してください。(※2)

- ② 端部パネルを手で押さえてセットしてください。

ポイント

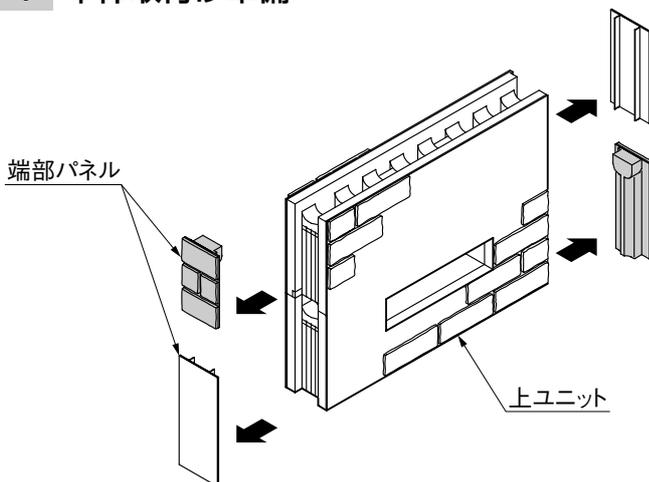
- ハンマー等の工具を使うとパネルが割れるおそれがあります
- すき間が目立つ場合は専用接着剤で補修してください。

補足

- 接着剤と十分なじむ程度に押さえてください。
- 専用接着剤がはみ出した場合は、ヘラ(現場手配)等でならしてください。

4. 上ユニットの取付け ※部分張りA・B塗り/機能付・機能無の場合です。

4-1 本体取付け準備



- ① 本体に仮止めしてある端部パネルを外してください。

補足

- 端部パネルは捨てないようにしてください。

4-2 OA-12型ポストの取付け ※本体(機能付)にOA-12型ポストを取付ける場合の手順です。

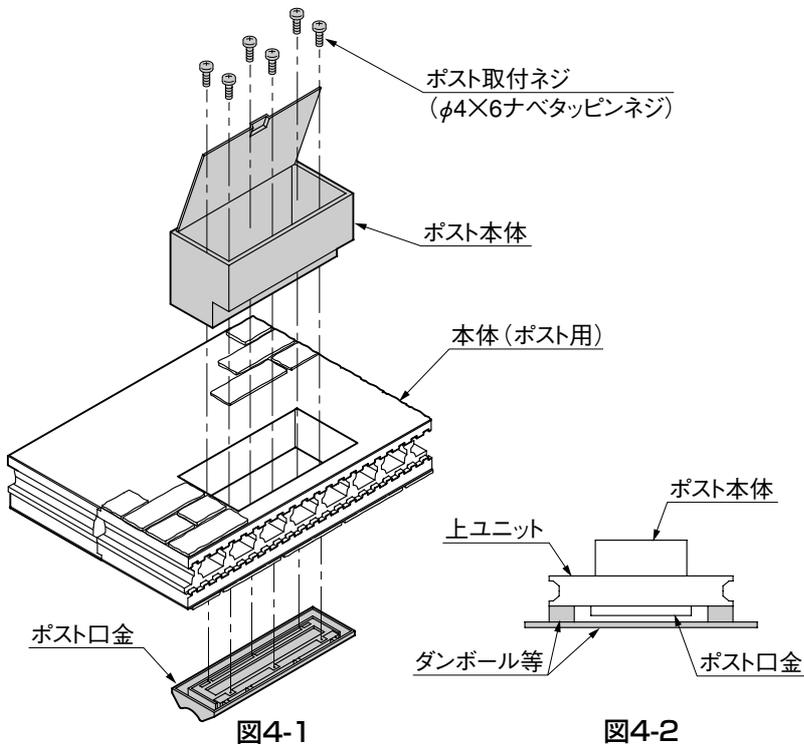


図4-1

図4-2

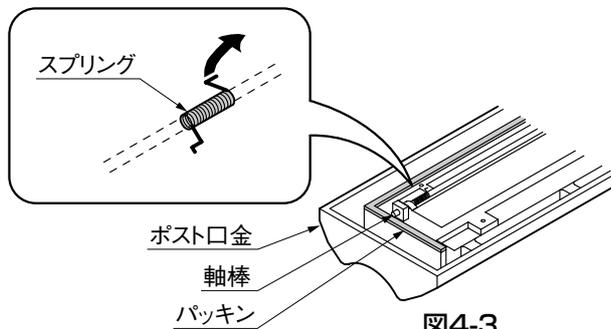


図4-3

- ① あらかじめポストに取付けてあるスペーサーを取外してください。
- ② ポスト本体取出し口から「φ4×6ナベタッピンネジ」を外してください。(図4-1参照)

補足

- 「ポスト-OA型口金タイプ (F062)」をご参照ください。
- 中敷板をずらすか取外すと作業がしやすくなります。

- ③ ポスト本体をブロックにはめ込み②で外した「φ4×6ナベタッピンネジ」でポスト本体にポスト口金を取付けてください。(図4-1参照)

補足

- 図4-2のように本体にキズやよごれ等がつかないように支い物をして寝かせると作業がしやすくなります。
- ポスト取付けの際に図4-3のスプリングを矢印の方向に起こして取付けてください。
- 図4-3のパッキンが外れないように注意してください。雨水の浸入につながります。
- 図4-3の軸棒をポスト口金の中央にすると取付けやすくなります。

4-3 本体の取付け

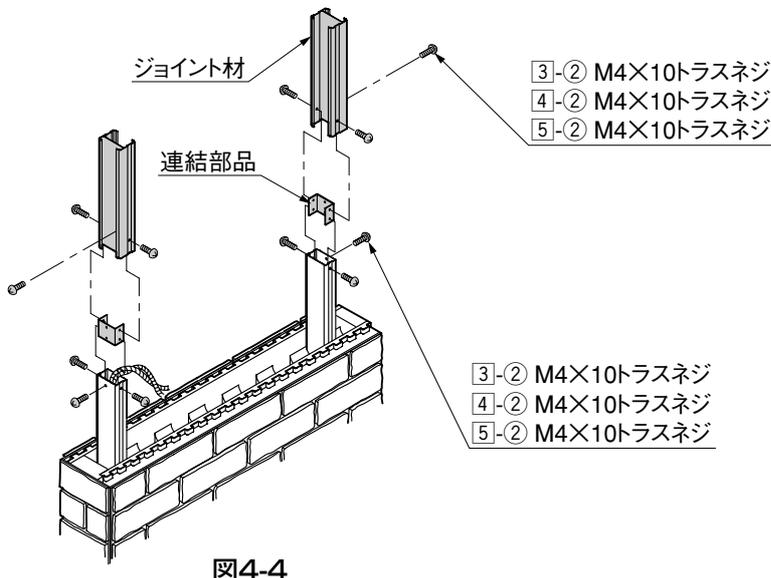


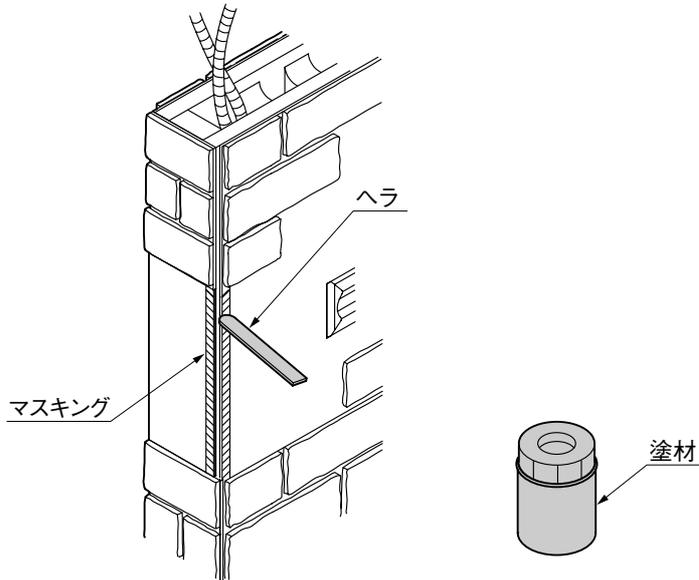
図4-4

- ① 連結部品・ジョイント材を下ユニットに③-②、④-②、⑤-②で取付けてください。(図4-4参照)
- ② 本体を下ユニットにはめ込んでください。

ポイント

- 本体をはめ込むときにジョイント材が本体発泡材を傷付けないようにしてください。入りにくくなります。

4-5 塗り角部の補修 ※端部塗りパネル使用時のみ



- ① 角部周辺をマスキングし、付属のヘラで塗材を塗布してください。
- ② 余分な塗材をヘラで欠きとってください。

補足

- 仕上げ面に付着した塗材は硬化する前に取除いてください。

5. ポストの防水処理 ※機能付の場合です。

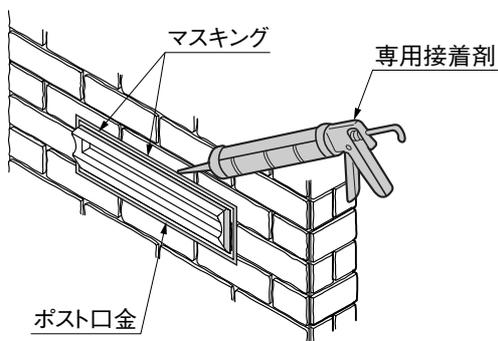


図5-1 表側

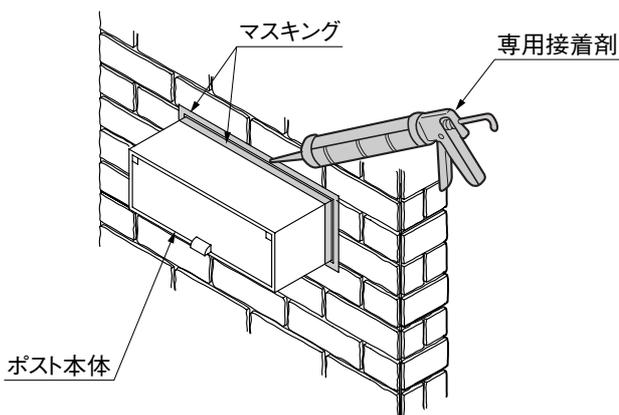
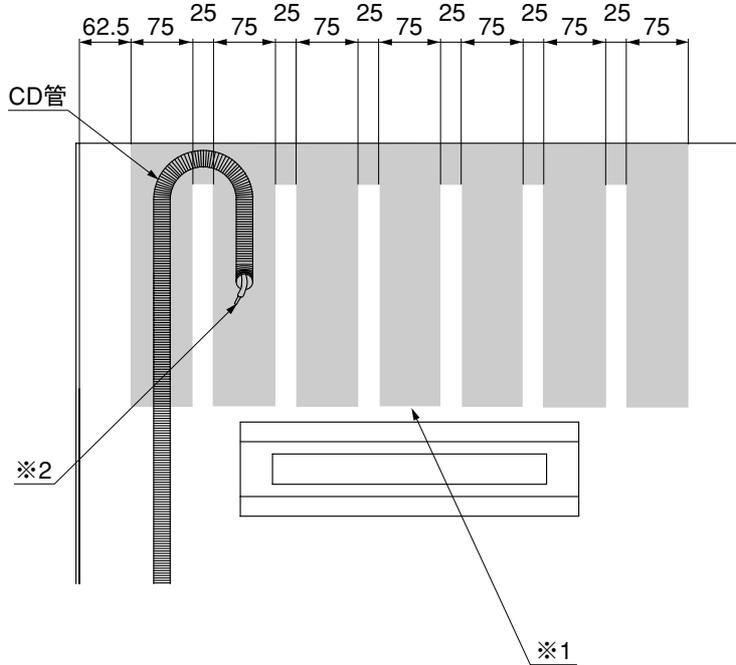


図5-2 裏側

- ① ポストおよび周辺にマスキングをして専用接着剤で接着仕上げを行なってください。

6. インターホン子機・PH-3型照明の配管・配線 ※機能付の場合です。



ポイント

- 露出型インターホン子機(オプション)・壁付け照明の取付けは※1の範囲内で行なってください。配管・配線がしやすくなります。

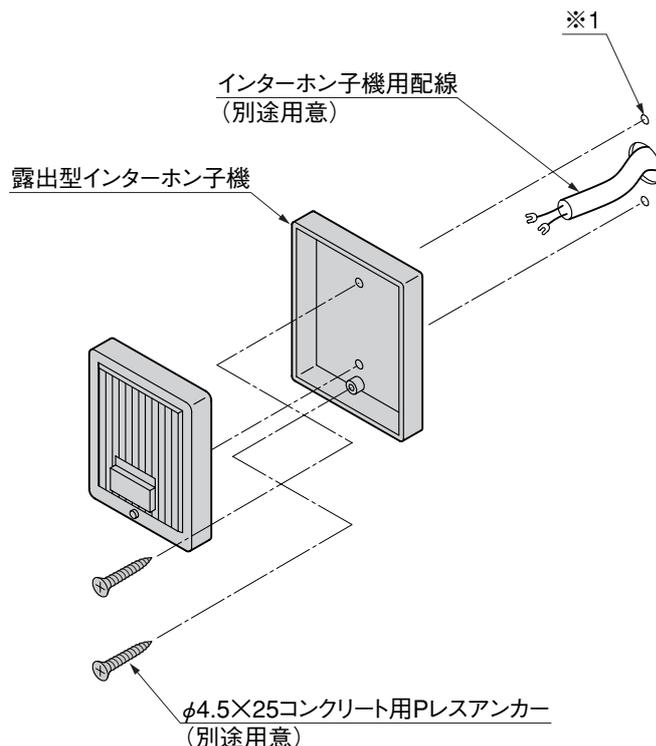
- 1 インターホン子機・壁付け照明取付け位置センターに配線用孔(φ10程度)をあけてください。(※2)
- 2 CD管の配管・配線を行なってください。

補足

- CD管を配管する際に発泡材をカッター等で加工してください。

7. インターホン子機の取付け オプション

※機能付きにインターホンを取付ける場合の手順です。



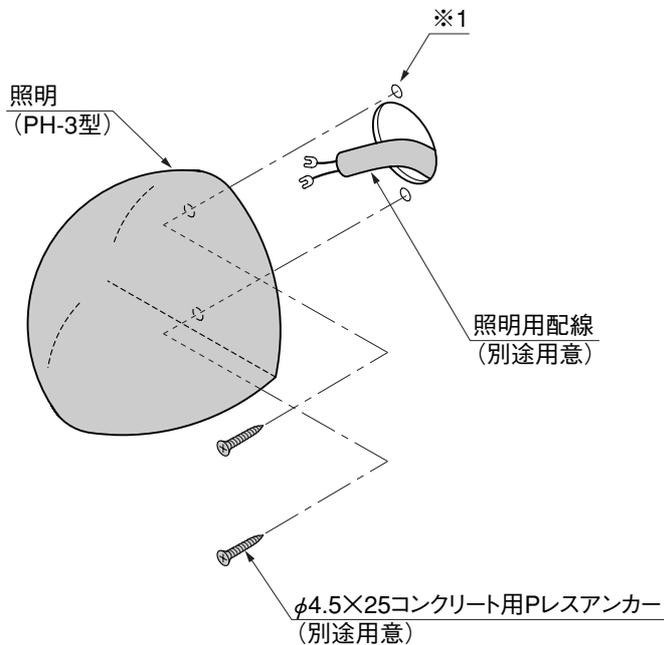
- 1 取付け位置に合わせてφ3.4の下孔を2ヶ所あけてください。(※1)
- 2 「φ4×25コンクリート用プレスアンカー」(別途用意)でカバーを固定してください。

補足

- 「φ4×25コンクリート用プレスアンカー」の締めすぎに注意してください。固定できなく場合があります。
- 露出型インターホン子機(オプション)の取付けおよび結線は付属の取付説明書にしたがって行なってください。

8. 照明の取付け **オプション** ※機能付の場合です。

8-1 PH-3型の取付け ※PH-3型照明を取付ける場合の手順です。

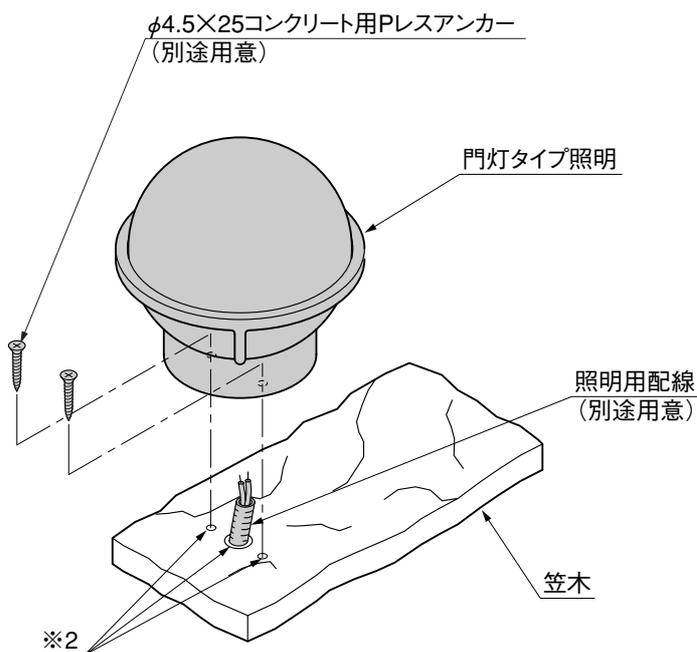


- ❶ 取付け位置に合わせて下孔(φ3.4)を2ヶ所あけてください。(※1)
- ❷ 「φ4×25コンクリート用プレスアンカー」でカバーを固定してください。

補足

- 「φ4×25コンクリート用プレスアンカー」の締めすぎに注意してください。固定できなく場合があります。
- PH型照明の取付けおよび結線は付属の取付説明書にしたがって行ってください。

8-2 HK-2型照明の取付け ※HK-2型照明を取付ける場合の手順です。



- ❶ 笠木に取付ける照明のセンター位置にφ10程度の配線用孔およびφ3.4の取付け孔を2ヶ所あけてください。
- ❷ 「φ4×25コンクリート用プレスアンカー」(別途用意)で照明を固定してください。

ポイント

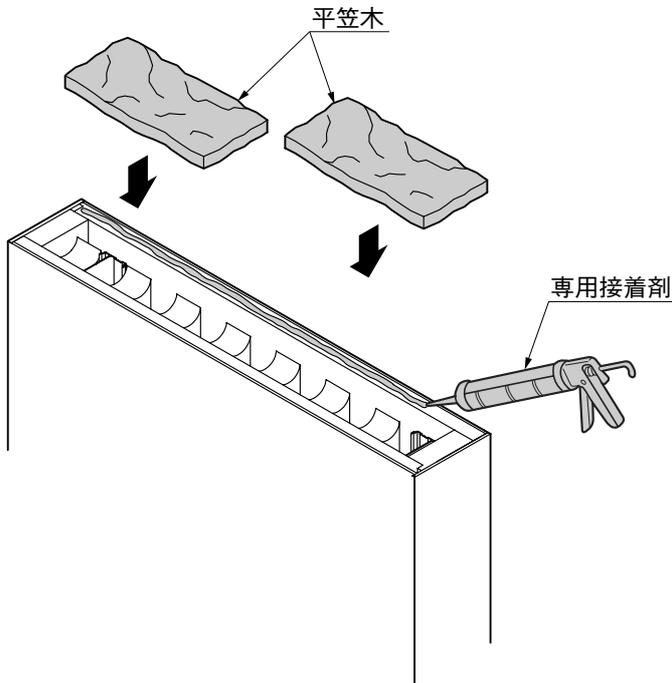
- CD管と配線の間を付属の専用接着剤で防水してください。漏電や誤作動につながります。

補足

- 各照明の取付けおよび結線は、各照明付属の取付説明書にしたがってください。

9. 笠木の取付け

9-1 平笠木の取付け

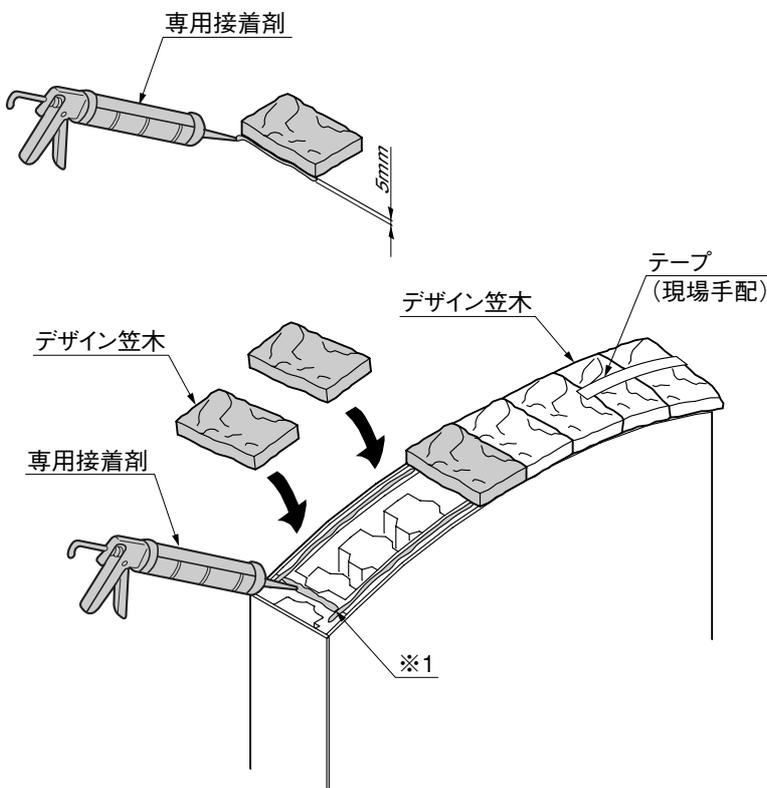


- ① 本体天板に専用接着剤を塗布してください。
- ② 平笠木を手で押さえてセットしてください。

補足

- 接着剤と十分なじむ程度に押さえてください。

9-2 デザイン笠木の取付け



- ① 本体天板に専用接着剤を塗布してください。

ポイント

- 端部は※1にも接着剤を塗布してください。十分に接着されない場合があります。

- ② 中央にデザイン笠木を手で押さえてセットしてください。

- ③ デザイン笠木側面に専用接着剤を塗布して中央からセットしてください。

ポイント

- 接着剤が硬化するまではテープ等で仮固定してください。
- 笠木にすき間があかないようにしてください。

補足

- 接着剤と十分なじむ程度に押さえてください。

取説コード

A366

200209A_1007